

## 重点目標 4

## 読書のまちづくりの推進

### 基本施策(1) ブックワーム芦屋っ子の育成

子どもたちの豊かな心を育成するとともに、本を活用して実生活に役立てるという観点からも「子ども読書のまちづくり推進事業」の成果と課題を踏まえ、読書活動の充実を図り、自ら本を手に取り、本が好きな子どもを育てます。

#### 《施策の方向》

- ①子どもの読書習慣の確立
- ②学校図書館の利用促進
- ③公立図書館と連携した教育活動の推進

### 基本施策(2) 生涯にわたって読書に親しむ環境の整備

読書のまちづくりを通して、子どもだけでなく、誰もがいつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができるよう、公立図書館の機能強化を図ります。また、それを活用することで、市民一人一人の学びを深め、生涯にわたって読書に親しむことができる環境を目指し、取組を進めます。

#### 《施策の方向》

- ①読書活動を支える公立図書館の機能強化

## 重点目標 5

## 多様な学びのできる生涯学習社会の構築

### 基本施策(1) 生涯学習の推進

人が様々なライフステージにおいて学びの機会を得られることは、感動や生きる喜びをもたらす、豊かな心を育むものです。それらへのひとつの資源として、芦屋の歴史、芸術文化などを伝え、次世代への継承を図ります。

また、学びの中で自ら課題を見つけて、考える力や柔軟な思考力を養い、習得した知識や技能を活用して複雑な課題を解決する力を備えることは、「生きる力」を育むことに繋がります。これらへの取組として、質の高い学びの機会や、学習成果を地域に還元していく機会を提供し、「知の循環型社会」を目指した仕組みづくりを進めます。

#### 《施策の方向》

- ①生涯学習の機会の充実
- ②指導者の養成・育成
- ③学習情報の集積・発信

### 基本施策(2) 生涯スポーツの推進

誰もがスポーツへの関わりを通して、楽しみながら、健康で豊かな生活を送ることができる、スポーツ環境の基盤整備を目指し、取組を進めます。

#### 《施策の方向》

- ①ライフステージに応じたスポーツの推進
- ②スポーツ文化の推進
- ③ささえるスポーツの推進
- ④スポーツ団体、学校・大学、行政等における連携・協働の推進

# 【学校園・家庭・地域の役割の例示】 芦屋で育てる“夢と

**育てたい子どもの姿1** 目標を持ち、課題解決に向けて自ら考え、取り組む子どもを育てます。

## 家庭の役割

- 挨拶のできる子どもに。
- 幼少期から規範意識を育む。
- 家庭学習の習慣を付ける。
- 発達段階に応じた夢や目標を持たせる。
- 考える力を伸ばすために、心を動かす様々な体験を大切に。
- すぐに解決の答えを与えるのではなく、子どもに考えさせる。
- 親子間の日々の会話を大切に。
- 子どもが一人でできるまで待つ。
- 頑張ったことは、しっかりとほめる。
- 学校園との連携・協力関係を大切に。
- 手をかけずとも、目はしっかりかける。

## 学校園の役割

- 基本的な生活習慣や学習習慣が身に付くよう指導する。
- 子どもの成長に必要な環境を整える。
- 一人一人の良さを認め、自尊感情を育む。
- 子どもが将来の夢や目標を語る取組を大切に。
- 多くの先生で、子どもをいろいろな角度から見る。
- トライやる・ウィークの取組の成果を生かす。
- 失敗や間違いをおそれないよう、子どもを励ます。
- 子どもとのコミュニケーションの機会を増やす。
- 子どもがお互いに育ち合う取組を充実させる。

## 地域の役割

- 「いつも見守っている」というサインを発する。
- 地域の中での子どもの居場所を確保する。
- 子どもや保護者の教育に関わる機会を持つ。
- 地域の教育力を学校園に提供する。

### 《教育施策の重点目標》と《取組の方向性》

- 1. 自らの未来を切り拓く「生きる力」の育成** (1)就学前教育の推進 (2)「確かな学力」の育成  
(5)特別支援教育の推進
- 3. 子どもたちの学びを支える環境の整備** (1)教職員の資質向上の推進 (2)質の高い教育環境の推進  
(3)学校園・家庭・地域の連携による支援

**育てたい子どもの姿2** 共に支えあい生きようとする心豊かな子どもを育てます。

## 家庭の役割

- 家庭が子どもにとって安全・安心な場になるようにする。
- いろいろな人との関わりを通して、人の気持ちかわかる子に育てる。
- 子どもが体験したことを共有し、家庭での話題にする。
- 親子の会話を通して、子どものコミュニケーション能力を伸ばす。
- テレビや新聞のニュースを親子の会話のきっかけにする。
- 芦屋の豊かな自然環境を生かした活動を体験させる。
- 子ども同士の友達づくり、仲間づくりを大切に。
- 家庭の中で、子どもの役割分担を決める。

## 学校園の役割

- 子ども同士が互いに認め合うことで、自尊感情を育てる。
- 異年齢の子ども同士が関わり合える機会を設ける。
- 子どもをほめたり、認めたりする場面をつくる。
- 生き物と触れ合ったり、育てたりする活動を大切に。
- 子どもたちに考えさせることを大切に。
- 自分の考えをもち、それを発信する力を育てる。
- 自然体験や、人、もの、社会と関わる体験を増やす。
- 問題の解決を急ぎ過ぎず、子どもの気持ちに寄り添う。

## 地域の役割

- 地域で子どもを育てる機運をつくる。
- 挨拶や声かけができる関係づくりを進める。
- 子どもの失敗を受け止めていける環境をつくる。
- 地域で子どもが体験を通して学べる機会を増やす。
- 地域の行事への参加を呼びかける。
- 子どもが地域の中で、自分の役割を持つようにする。

### 《教育施策の重点目標》と《取組の方向性》

- 1. 自らの未来を切り拓く「生きる力」の育成** (3)「豊かな心」の育成
- 2. 命と人権を大切にする教育の充実** (1)人権尊重の理念に基づく「共生」の心の育成  
(2)子どもの内面理解に基づく生徒指導の充実 (3)防災・安全教育の推進

# 志をもって自らの未来を切り拓く子どもの姿”

育てたい子どもの姿3 体力を向上させ、健康的に生きる自覚をもつ子どもを育てます。

## 家庭の役割

- 幼少期から親子で体を動かす機会を増やす。
- 運動の楽しさを実感させ、運動好きな子どもに育てる。
- 外遊び、集団の遊びを多く経験させる。
- 運動を通して、心身のバランスのとれた発達を促す。
- 朝ごはんをしっかり食べる、睡眠を十分にとるなど、規則正しい生活習慣を育む。
- ゲーム時間は、親子でルールを決める。
- 親子で地域のスポーツイベントに参加する。

## 学校園の役割

- 就学前から外で遊べる環境づくりを工夫する。
- 体を動かすこと、運動の楽しさを味わわせる。
- 運動を自分からやってみたいと思う動機付けを行う。
- できないことにもチャレンジしていく気持ちを育てる。
- 体幹を鍛える運動を取り入れる。
- 休み時間は、外に出て遊ぶよう指導する。
- 一人でする運動だけでなく、チームで運動する機会を増やす。
- 外で遊ばない子を遊びに誘う工夫をする。
- 運動部の活動を充実する。
- 食育の指導を充実する。

## 地域の役割

- 子どもが地域の中で、大声で(元気に)遊んだり、ボール遊びをしたりできる環境をつくる。
- コミスク活動等、地域のスポーツ活動への参加機会をつくる。
- 地域のスポーツイベントへの子どもの参加を呼びかける。

### 《教育施策の重点目標》と《取組の方向性》

1. 自らの未来を切り拓く「生きる力」の育成 (4)「健やかな体」の育成
5. 多様な学びのできる生涯学習社会の構築 (1)生涯学習の推進 (2)生涯スポーツの推進

育てたい子どもの姿4 自ら本を手に取り、本が好きな子どもを育てます。

## 家庭の役割

- 家読(うちどく)に積極的に取り組む。
- 「図書リスト」の本を親子で読む機会をつくる。
- 乳幼児期から、子どもに読み聞かせをする。
- 大人が読書をする姿を子どもに見せる。
- 子どもと一緒に公立図書館に出かける。
- 子どもが本を読むきっかけとなる本を選んで与える。

## 学校園の役割

- 「おはなしノート」、「読書ノート」を活用する。
- 子どもが本に興味を持てるような工夫やきっかけづくりをする。
- 子どもが行きたいと思う学校図書館となるよう環境整備をする。
- 幼小中を通して読み聞かせの取組を大切にしている。
- 学校図書館の授業の中での活用機会を増やす。
- 本を用いた調べ学習を充実する。
- 子どもが、友達に本の魅力を紹介していく機会をつくる。
- 本を読まない子どもを本に導く仕組みをつくる。
- 朝の読書の時間を確保する。
- 図書委員会活動の活性化を図る。

## 地域の役割

- 読み聞かせボランティアによる学校支援を充実する。
- 読み聞かせを通じて、子どもとの関わりを深める。
- 公立図書館の子ども向けイベントの内容を充実する。
- 地域の中で、読書のまちづくりの機運を盛り上げる。

### 《教育施策の重点目標》と《取組の方向性》

4. 読書のまちづくりの推進 (1)ブックワーム芦屋っ子の育成 (2)生涯にわたって読書に親しむ環境の整備

# 5年後の目標

重点目標 1 自らの未来を切り拓く「生きる力」の育成		現状(H26)	目標(H32)
指標 1	幼稚園・保育所・認定こども園の合同研修会等参加人数(人/年)	354	420
指標 2	公立の全幼稚園の未就園児とその保護者に対する施設開放実施日の総数(回/年)	234	320
指標 3	中学校の数学で「授業がよくわかる」と答えた生徒の割合(%)	80.0	80.0
指標 4	小学校の英語学習で、「これからも英語を使ってみたい」と答えた児童の割合(%)	92.1	92.1
指標 5	日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対して個別の支援計画に基づいた支援が行われている割合(%)	—	100
指標 6	外国語によるスピーチコンテスト参加数(人/年)	—	100
指標 7	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(%)	小学校86.0 中学校71.7	小学校90.0 中学校80.0
指標 8	小・中学校が連携して道徳教育を推進するため、道徳の時間の相互参観、合同研修等を実施している学校数(校)	8	11
指標 9	全国体力・運動能力調査結果で全国平均以上の種目の割合(%)	10.0	20.0
指標 10	特別支援教育に係る研修会、研究会の参加者数(人/年)	424	486

重点目標 2 命と人権を大切にする教育の充実		現状(H26)	目標(H32)
指標 11	芦屋市人権教育推進協議会研究大会参加者数(人/年)	800	1,000
指標 12	中学校における不登校生徒の割合(%)	3.3	1.9
指標 13	通学路合同点検において確認された危険箇所(市が実施主体となる箇所のみ)の改善割合(%/年)	100	100

重点目標 3 子どもたちの学びを支える環境の整備		現状(H26)	目標(H32)
指標 14	教職員新規採用～5年次研修講座の受講者数(人/年)	166	275
指標 15	ICT化によって、子どもと向き合う時間が増えたと感じる教職員の割合(%)	—	67.0
指標 16	教育ボランティアの活動人数(人/年)	554	570
指標 17	あしやキッズスクエア、校庭開放、子ども教室の開催日数(日/年)	1,060	1,920
指標 18	青少年の自主的活動(青少年リーダー及び青少年ボランティア)者数(人/年)	17	1,870
指標 19	放課後児童健全育成事業の待機児童数(人)	0	0
指標 20	あしやキッズスクエアでのプログラム実施回数(回/年)	—	920
指標 21	学校支援ボランティアグループの活動実施日数(日/年)	407	506
指標 22	若者相談センター「アサガオ」の支援対象者数(人/年)	26	100
指標 23	子育て異世代交流会等への参加人数(人/年)	95	190

重点目標 4 読書のまちづくりの推進		現状(H26)	目標(H32)
指標 24	児童生徒一人当たりの学校図書館における図書貸出冊数(冊/年)	小学校59.7 中学校14.6	小学校65 中学校17
指標 25	公立図書館における児童(7～15歳)の図書貸出冊数(冊/年)	73,150	76,808
指標 26	市民が1か月に1冊以上読書する割合(%)	55.0(H27)	67.8

重点目標 5 多様な学びのできる生涯学習社会の構築		現状(H26)	目標(H32)
指標 27	芦屋の伝統や文化に係る講演会等の参加者数(人/年)	330	380
指標 28	中学生以下の美術博物館入館者数(人/年)	1,260	3,000
指標 29	社会教育活動を通じて学んだ市民が講師や指導者となった公民館講座及び市民版出前講座の実施回数(回/年)	3	16
指標 30	文化財の整理作業補助等に関わる「文化財ボランティア」の活動者数(人/年)	15	27
指標 31	スポーツの週1回程度の定期的実施率(%)	62.0(H24)	69.0
指標 32	スポーツ啓発事業参加者数(人/年)	857	1,115